

心に響く音楽会でした!! (11月6日)

亀山市文化会館で「第70回市内小中学校音楽会」が開かれました。今までたくさん練習してきた『風になる』『学園天国』の2曲を、しっかり歌ったり演奏したりしてきました。声の美しさと楽器演奏のひとつになった音色に心に響くものがありました。

ほかの小中学校の演奏にも、耳を傾けながら、楽しい半日を過ごすことができました。

会場に駆けつけて応援の拍手をいただいたおうちの方、地域の方、お忙しいところ本当にありがとうございました。11日の日曜参観2限にも披露します。



11月11日(日)日曜参観(特認校参観)日がせまってきました。親子ふれあい教室の持ち物をお知らせします。

この2つの教室は親子で参加をお願いします。

あとの授業はフリー参観です。

◎1・2年生 紙ヒコーキ教室 3・4限 体育館

指導者 打田 一生さん

持ち物 下じき じょうぎ または 三角じょうぎ

※用意していただくことができれば、セロハンテープ



◎3～6年 木工教室 5・6限 5限は 13:15～ 体育館

指導者 三谷 久夫さん

持ち物 軍手 えんぴつ ものさし(またはメジャー)

※用意していただくことができれば、

電動ドライバーとプラスのビット(参考までに、2.5～3ミリの
は先につけかえるドリル ドライバーのサイズは、ドライバーNo2)
延長コード



全国学力・学習状況調査をふいかえて

亀山市でも、先月に市のホームページに「平成30年度 全国学力・学習状況調査の結果について」という形で、成果と課題についての分析を掲載しております。

その中で市全体として、

『小学校については、国語における「書くこと」の領域に課題が見られる。文章を書く技能を学年に応じて習得させること、そして、目的や意図に応じた文章を書く場を多く設定することが大切である。また、文脈にあった正しい漢字を使うことが苦手である。熟語の意味を知ることや学習した漢字をさまざまな場面で使っていくことが必要である。

算数では昨年度と同様、「量と測定」の領域「数学的な考え方」に課題が見られる。測定の技能を身につけるだけでなく、量感を豊かにする学習活動や、なぜそのようになるのかを考える過程を組み込んでいくことが有効だと考えられる。』

と分析しています。

本校では、国語では、複数の条件をもとに問題を読み解くことなどに課題が見られることが分かりました。

同じように算数でも、問題に対して意味を理解したり、図形・量や測定領域において説明をしたりすることなどに苦手意識があるのは昨年度と同じです。

これらの課題は6年生の段階だけの問題ではなく、低学年からの積み上げがどの教科においても大切であることは言うまでもありません。例えば、2年生で学習する九九が、その後の算数の学習の基本的な力の一つとなっていくことなどもその一つと言えるでしょう。

亀山市全体として、めあて・まとめ・ふりかえりのある授業、書く力を育むため、ふりかえりを書いてまとめるよう取り組みをすすめています。

本校でも、読み書き、計算等の基本的な指導の再確認と定着に向けて学習を進めてまいります。すでにお配りしている「家庭学習の手引き」に沿って、家庭での学習時間とともに内容の方もさらに充実したものにしていきたいと思います。また、モジュール学習や夏休みなどの長期の休みを利用したサマースクールなどの充実もその方策の一つと考え、こうした取り組みについてもより効果的な方法を考えてまいります。

さらには、問題文をしっかりと読み込むことのできる読解力を伸ばすためにも、読書活動の推進にも力を入れてまいります。

学校図書館の利用をはじめ、市立図書館の活用や家庭での読書など、子どもたちの読書の中を広げる様々な取り組みを考えていきたいと思っています。今後とも家庭学習について子どもたちの様子を見ていただいたり、読書の時間を持っていたりしながら、学校・家庭が力を合わせて、子どもたちの学力向上に向けてともに歩んでいけたらと思っています。

子どもたちへの、おうちの方の励ましが一番のご支援と思っていますので、ご理解、ご協力のほどよろしくお願いいたします。

